

患者さまへ
「同一医療機関における健診および診療において
施行された上部消化管内視鏡検査結果の比較検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日までに当院消化器病センター、予防医学センターで上部消化管内視鏡検査を受けられた方
2 研究目的・方法	「萎縮性胃炎」とは、胃の粘膜が薄く弱くなってしまう状態で、胃の働きに影響することがあります。これは、内視鏡検査で見つかることが多く、特に胃がんなどの病気のリスクを見るうえで、大切な所見です。また、胃の状態は、人によって、また検査を受けるきっかけ(症状があるかどうか)によって違いがあることがわかってきています。 この研究は、健康診断を受けた人と症状があつて病院に来た人のそれぞれの内視鏡検査の結果を比較し「萎縮性胃炎」がどれくらいの頻度で見つかるのか、またどれくらい重症なのかの違いを調べることで、より正確な診断や、必要な治療・予防につなげることを目的としています。 研究の期間:施設院長許可後(2025 年 9 月予定) ～2026 年 1 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があつた時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、喫煙歴、上部消化管内視鏡検査を施行した経緯と所見、ピロリ菌除菌歴、逆流性食道炎の有無、胃がん合併の有無、胃食道逆流症の有無 等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形でいきます。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 予防医学センター 宮崎 茉莉子 住所:神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先:0467-46-1717

2025 年 7 月 24 日作成(第 1.0 版)